

■ 教育目標「学び合い 高め合い 共に伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

令和4年2月25日発行
新潟県 佐渡市立
七浦小学校



No. 12

♪ 来られる時 に 来られる方 から さわやか あいさつ うらら ななうら ♪

今回は3月7日に開催！朝7:40～8:00 玄関前でお待ちしています！

学校だよりが取りもったご縁

校長 山口 明美

新潟地方気象台は2月15日、本県に「春一番」が吹いたと発表しました。この言葉を聞くと、暖かい春のおとずれを告げられたようで嬉しくなります。「寒の戻り」を繰り返しながらも季節は着実に「希望の春」に向かって進んでいます。芽吹きをじっと待つ草木のように、気持ちを引き締めて春を迎える準備をしていきたいと思えます。

今月、長野県のある小学校の校長先生から下記のようなメールをいただきました。

はじめまして。突然のメールで失礼いたします。

長野県下伊那郡阿南町立和合小学校の高本と申します。

本校は全校9名の長野県一小さい小学校です。本年度は1・2年、3・4年、5・6年の連学年での複式学級が組めているのですが、来年度は本校も4・5年の変則複式となる予定です。教科の違いや指導時数の違い等、複雑な時間割をどのように組むか思案していたところ、貴校が本年度2・3年、4・5年の変則複式で運営されていることを知りました。貴校の学校運営のノウハウをお聞かせいただければと思いメールいたしました。

という内容でした。

ホームページで確認すると、愛知県と静岡県に隣接する深い深い山合にある小さな小学校でした。春は棚田で田植え、夏は川で泳ぎまくり、秋から冬にかけては薪割りから始める炭焼き体験と、雄大な自然を相手に、地域と共に様々な教育活動に取り組まれていました。海と山の違いはありますが、何となく七浦小と似ていて親近感がわきました。

しかし、他県の小学校の校長先生がどのようにして七浦小を知ったのか疑問に思い、お聞きしたところ、「4・5年複式」とインターネットで検索したところ、七浦小のホームページ上の学校だよりが目にとまりましたとのことでした。学校だよりが取りもってくれた不思議なご縁を嬉しく思うと同時に、ネット上に発信するということの責任の重さを感じました。

また、昨年度、修学旅行で佐渡に来た十日町小学校の6年生との交流時、十日町小の子どもたちはくいな浜での磯遊びをとっても喜んでいたことを思い出しました。雪深い山に抱かれた小学校と海のすぐそばにある七浦小。オンラインで繋がり何か活動できないものか・・・と夢は膨らみます。

令和3年度ももうすぐ終わりになります。コロナウイルス感染拡大がなかなか収束しない中ですが、卒業、進級に向けての一つ一つの取組を丁寧に行っていきたいと思えます。